

平成27年10月28日 【水曜日】

増毛山道の会が体験トレッキング

山道の歴史肌で感じ

ことし最後の開催に

【留萌発】NPO法人増毛山道の会（伊達東会長）による、ことし最後の山道体験トレッキングが二十四日行われた。参加者は、同会と留萌振興局が復元した増毛町岩尾から別荘を結ぶ延長十六キロのコースを歩きながら山道の歴史を肌で感じ取っていた。

増毛山道は、江戸時代に活躍した商人・伊達林右衛門が安政四年（西暦一八五



七年）に開通させた、増毛町別荘と石狩市幌を結ぶ延長約二十七キロの交易路。小杉測量設計㈱（留萌、小杉由明社長）など増毛山道の会員と留萌振興局が協力しながら山道の復元を進めている。

ことし最後と

なった今回のトレッキングには、留萌市をはじめ、札幌市や帯広市、苫小牧市などから十九人が参加。同会員六人によるガイドやサポートのもと、増毛町岩尾から別荘を結ぶ延長十六キロの「フルコース」を歩いた。

トレッキングでは、山道を歩きながらガイドが増毛山道の整備された背景や歴史を解説。参加者は、明治時代に設置され今も残る電線の電柱や一等水準点、郵便物の交換や宿泊施設としての役割もあつた武好駅通跡などに立ち寄り、歴史を感じ取りながら増毛山道に対する理解を深めた。写真。

同会で事務局長を務める小杉測量設計の小杉忠利会長は「現在の車社会では考えられないような道があつたことを、より多くの人に知ってもらいたい」と今後の活動にも意欲をみせている。